【SR-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	EVガイドラン
対象	がんで経末梢静脈の化学療法を受ける患者
介入	自流滴下／自流滴下式輸液ポンプ
対照	強制注入式輸液ポンプ

＊バイアスリスク，非直接性
各ドメインの評価は「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（−2）」，「中（−1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

エビデンス総体

アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	リスク人数（アウトカム率） 対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント
皮膚の炎症	症例報告／4	-1	-1	-2	-1	0	0	4	4	100	0	0	0	NA	NA	NA	D(とても弱い)	6	
皮膚潰瘍（壊死）	症例報告／1	-2	-1	-2	-2	0	0	2	2	100	0	0	0	NA	NA	NA	D(とても弱い)	9	
速度管理の精度（自流滴下の場合）																		8	
看護師の業務量																		7	
血管外漏出の減少	コホート／1 症例報告／6	-2	-1	-1	-2	0	0	166	60	36.1	239	46	19.2	NA	NA	NA	C(弱)	6	

コメント（該当するセルに記入）

		ポンプ使用の	症例報告のみ	症例報告のみ	ポンプ使用の												症例報告のみ	
		ポンプ使用の	症例報告のみ	症例報告のみ	ポンプ使用の												症例報告のみ	
		コホート研究	症例報告は、	1文献は300	小児限定の報												コホート研究	